



# 市民協働って



川尻地区コミセン管理運営委員、管理人ボランティアのみなさん

# ナン だっ!?

 秋田市が重点テーマに掲げて進めている「市民協働」って、具体的にどんなことなんだろう？ もしかして市役所の仕事を市民に押しつけているだけ…？

 そんなことないわよ。より良いまちにするために、市役所だけでなく、みんなが協力して頑張ること。気づいてないかもしれないけど、市民協働はずっと前からいろいろなカタチでやっているのよ。

そうなんだ！ よしっ、市民協働を探しにまちへ出てみよう！



## 課題解決の鍵 「市民協働」



現在秋田市は、市民ニーズの多様化、少子高齢化など、数々の課題に直面しています。市では、それらを解決する手法の一つとして、市民協働が有効だと考えています。

### みんなが協力して住みよいまちに

市では、市民協働を「市民と市が共通の目的を達成するために、協力して働くこと」と定義しています。

市が行っている行政サービスは、「計画」「決定」「執行」「評価」の4段階に分けることができます。市民協働を行うことで、それぞれの段階で左記のような効果が得られ、限られた財源と人的資源でも豊かな暮らしを実現できると考えています。

**計画・決定**▼サービスの提供に関する計画を検討するときや決定するときに、地域のニーズや課題をきめ細かく反映することができます

**執行**▼住民の創意工夫と意欲を生かした効果的な施策展開や、地域の実情にあった確かなサービスを実施することができます

**評価**▼サービスに関係が深い住民の実感とニーズを知ることができるほか、実態に合ったアイデアを得ることも期待できます

#### 問い合わせ

地域振興課 ☎(0106)2037

協働のカタチ① 市が建設したコミセンを住民が運営

# 川尻地区コミュニティセンター

市民▼コミセンの管理・運営  
市▼コミセンの建設、光熱水費などの費用負担



## 建設計画も市民協働で

平成19年4月に市内20館目としてオープンした川尻地区コミセン。市ではなく、地域のみなさんが管理・運営を行うコミセンとしては旭北、保戸野に続き3館目です。

管理・運営を行うのは、町内会や地域の団体で組織する管理運営委員会。運営委員のみなさんは建設時から関わっています。「2階までとはいえ、高齢者のことを思えば絶対必要」というみなさんの意見により、コミセンには珍しいエレベーターが設置されました。

## より魅力ある「ミセン」に

利用者は1か月に2千人を超えます。「サークル関係者の利用が多いですね」と、ふだん窓口にいる管理人ボランティアのみなさん。「寒い季節、床暖房があるロビーで井戸端会議はいかがですか」と地域のかたの気軽な利用を勧めます。来年度は住民アンケートも予定しているとのこと。自主的な取り組みを進めることで、より魅力的なコミセンをめざします。



## 温かい対応に感謝

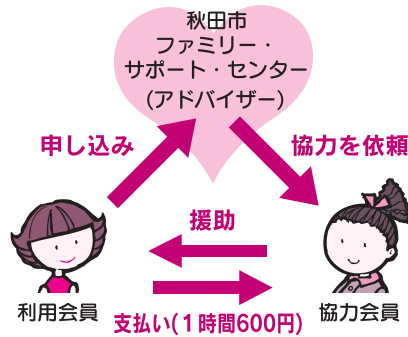
利用者の「正道会館秋田(空手サークル)のみなさん

窓口のかたと交わす気さくな会話に心が温まります。いつも気持ちよく使わせていただき、感謝、感謝です。



協働のカタチ② 市の仲介で子どもを預ける

# 秋田市ファミリー・サポート・センター



市民▶子どもを預ける、預かる  
市▶仲介。研修などのサポート

## 私たちが説明します!



「秋田市ファミリー・サポート・センター」は平成12年に開設しました。従来の保育サービスを補完し、仕事と子育ての両立や、在宅での子育てを支援するのが目的です。子育てを手伝いたい人(協力会員)と手助けしてほしい人(利用会員)がセンターに登録し、利用会員のニーズに応じて協力会員が子どもを有償で預かる『市民と市民が支え合う相互援助活動』です。秋田市民であればどなたでも会員になることができます。市は事務局を務め、3人のアドバイザーが会員相互の仲介・調整を行っています。



利用の前には利用会員、協力会員、アドバイザーの三者で顔を合わせ、子どもの様子や依頼内容を確認します。



「登録しただけで安心できます」(利用会員の伊藤順子さん・右)。「働く親の助けになりたくて始めました」(協力会員の小野佳子さん)

この制度は、協力会員の自宅子どもを預かる、とつても家庭的な子育て支援です。より多くのかたに会員になって利用していただき、地域の子育て環境の向上にもつながっていくばと思っています」

問い合わせ  
秋田市ファミリー・サポート・センター ☎(0807)503036

14ページで協力会員を募集!